

令和 4 年度 第 1 回学校運営協議会評価報告書

鳥取県立倉吉養護学校  
校長 中家 岳史

評 価 日	令和 4 年 6 月 2 3 日 (木)	
評 価 ・ 提 言		学校の所見・改善策等
<p>1 目標設定について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の重点目標に「安全で安心な学校づくり」とあるが、大変重要な視点である。その中で現在、地域の学校でも医療的ケア児への対応で様々な整備が課題としてある。本校では、常勤の看護師は1名で、他は非常勤の看護師ということであるが今後、常勤の看護師を増やす等の検討はされるか。</li> <li>・関連して、今年度より医療コーディネーターを配置したとのことであるが、養護教諭との役割等、調整役としての役割が難しいのではないか。</li> </ul> <p>2 評価項目と目標達成のための取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学部の評価項目で子どもの主体的に取り組む視点が大切され明確になっており、評価できる。</li> <li>・個別の指導計画の新様式とあるが、保護者との情報共有のあり方をふまえたものになっているか。</li> <li>・コロナ禍で保護者が来校され、子どもの様子を見る機会が減っている状況にあるが、学校の教育活動や取り組みをいかに保護者に発信していくのかが課題ではないか。</li> </ul> <p>3 具体目標について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標（年度末の目指す姿）の欄に生徒アンケートや学習の記録から評価という記載があった。教員の主観だけでなく、子どもの実態をふまえた評価になっているのはよい。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア体制の充実を重点目標に掲げている。重度の医療的ケア児をはじめ、医療的ケアが必要な子どもの数が今後増える等の実態があれば、検討していきたい。</li> <li>・安全な医療的ケアを行うために、担任と看護師の連携や外部との連携、養護教諭との連携等、調整役として配置した。実際に連携した上で、評価を試みたい。</li> <li>・今後、評価結果で成果が出せるように取り組んでいきたい。</li> <li>・個別の教育支援計画を作成時に保護者との情報共有を行っている。</li> <li>・参観日等、分散する形で実施している。HPやお便りなどで、保護者には教育活動を発信することも工夫している。</li> <li>・子どもの実態を明らかにした上でその根拠のもとに教員の評価としている。</li> </ul>

- ・新型コロナウイルス対策基準やガイドラインに即した対応をするとあるが、地域からは本校が新型コロナウイルス感染で現在まで臨時休業措置をとっていないということを高く評価する声を多く聞く。今後も継続して取り組んでほしい。

- ・キャリア教育部に「保護者アンケートで8割以上が進路や人権教育・交流に関する情報発信ができる」と回答するとあるが、福祉セミナー等で動画配信を行っているが、保護者の反応も確認してほしい。

#### 4 目標達成のための具体方策について

- ・緊急時の訓練や安全点検とあるが、最近不審者や不審メール等の対応があったが、本校では具体的にどう取り組んでいるのか。

- ・子どもたちの安心・安全への意識を高める取り組みとして、交通安全教室が行われていると思う。その中で、実際、車を運転しているときに横断歩道で子どもが立っていたので、停車したところ、対向車が停車せずに交通事故になった事例が身近に多くある。そういう具体的な事例も扱って伝えてほしい。

#### 5 その他

##### (1) 戦略事業について

- ・地域に生きる力とあるが、どんなことが支援を受けながら、地域貢献や役割をはたすことになるのか。地域とのつながりは大切なことであり、地域の方のやりがいという視点も大事にしてほしい。

- ・今後も保護者にも協力いただき、感染に関わる情報共有を密にしながら、感染予防対策を徹底していきたい。

- ・10月と2月に保護者アンケートを実施するので、その結果を取り組みに反映させていきたい。

- ・誘拐予告の不審メールの対応については、登下校時に保護者への注意喚起を行い、バス通の子どもたちには、各学部で教員を配置し見守りを行った。スクールサポーターに依頼し、登下校時にパトロールしていただいている。

- ・子どもたちの生活の中で起こりえる事象であり、大切な視点であるので、しっかりと指導していきたい。

- ・過去にもおちょこを販売し、地域の方に喜ばれことがあった。そういう意味で貢献できているととらえている。コロナ禍でなかなか難しいが、公民館で地域の方との交流の再開も検討している。